環 境 報 告 書

（２００３年４月～２００４年３月）

株式会社　**暁精工所**

目　次

１．環境方針

２．組　　織

３．平成１５年度　環境目的・目標

４．化学物質管理

５．平成１５年度グループ取組み
《環境新聞（月１回発行）》

６．平成１５年度　取組状況と実績①
《水道／電力使用量推移》

７．平成１５年度　取組状況と実績②
《廃棄物処理削減実績》

８．平成１５年度　取組状況と実績③
《安全環境推進委員会》

１．環境方針

環　境　憲　章

[環　境　理　念]

株式会社暁精工所は、母なる星「地球」上で活動している一員としてその環境保全に貢献する事は最低限の義務であり使命であると認識しています。地域社会・自然と調和し地球環境と共生できる生産活動を可能なことから実施していくことにより、永続的な文明の発展と豊かな社会の実現に寄与します。

[行　動　指　針]

株式会社暁精工所は、環境保全を企業活動の最重要課題の一つととらえ
技術的・経済的に可能な範囲で従業員全員の参加のもと行動します。

１．省エネルギー、廃棄物のミニマム化、リサイクル活動および汚染予防活動を通じて、環境負荷の継続的な低減を図ります。

２．関連する環境の法規制の遵守はもとより、自らの責任において設定する管理基準を掲げ、その実現に努めます。

３．環境負荷低減のための目的・目標を定め環境保全推進体制の維持・改善を継続的に展開します。

４．環境教育を通じ全従業員の意識向上を図るとともに、一人一人が自らの責任でもって環境保全活動を遂行できるよう啓発、支援を行います。

なお、当憲章は従業員並びに関係会社に周知し、社外の要求に応じて開示します。

以　上

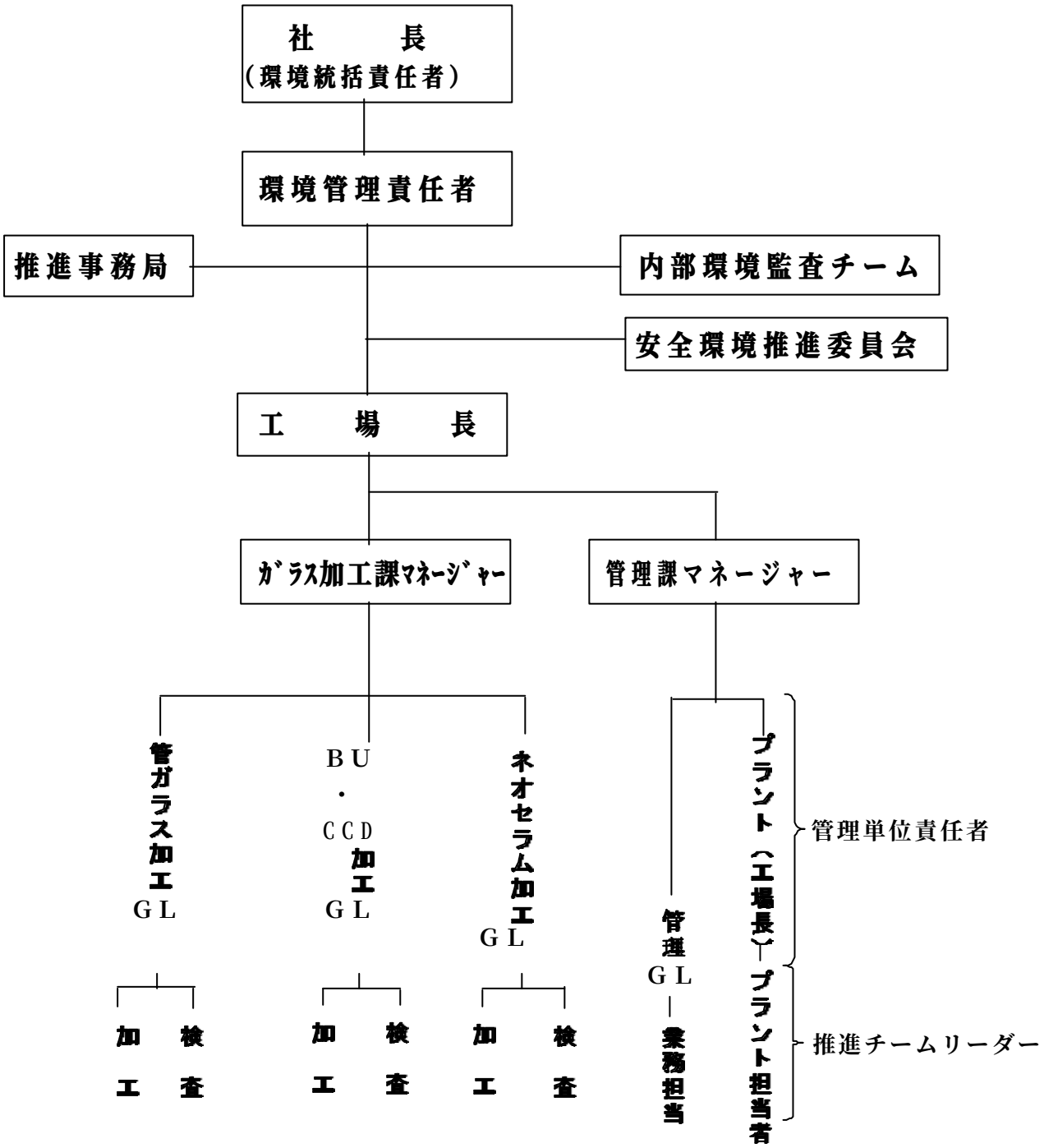
２００１．４．１（第１版）

株式会社暁精工所

代表取締役　**森　雄治郎**

２．組　　織

ＩＳＯ１４００１推進体制図



３．平成１５年度　環境目的・目標

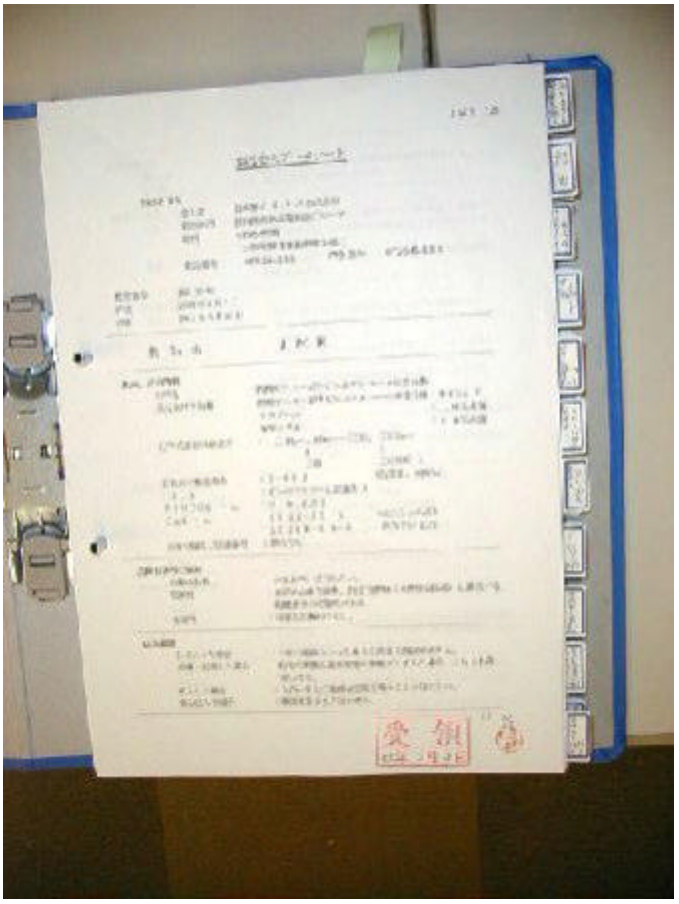
環境目的・目標一覧表

サイト目的 （2006年）	サ　イ　ト　目　標		
	２００４年度	２００５年度	２００６年度
可燃物の削減 ２６００kg／年 →△３０％削減	２６００kg／年 →１０％削減	２６００kg／年 →２０％削減	２６００kg／年 →３０％削減
廃プラの削減 ２４００kg／年 →△３０％削減	２４００kg／年 →１０％削減	２４００kg／年 →２０％削減	２４００kg／年 →３０％削減

４．化学物質管理

●ＭＳＤＳ（マテリアル・セーフティ・データシート）

化学物質による災害を未然に防止するために、工場で使用・取扱う及び出荷する
全ての化学物質に対してＭＳＤＳ〈化学物質の安全データシート〉を整備しています。



●ＰＲＴＲ

化学物質の環境への排出量を把握するため、ＰＲＴＲ（環境汚染物質の排出及び移動量の登録）を手順書に定め、実施しています。
本年度は、法に定められた対象化学物質のうち工場で取扱いのある物質について実施し、主務大臣に届出を完了しました。

5．グループ取組み（月１回　環境新聞発行）

暁　環境新聞

第11号
2003年10月

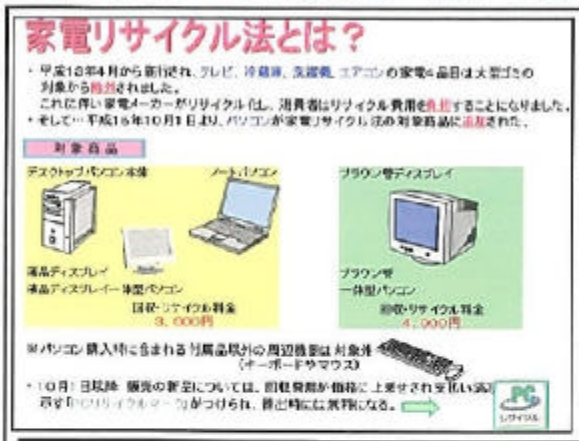
作成

承認

朝晩、めっきり涼しくなり、そろそろ暖房器具を出されている家庭もあるようですね。最近、堅田周辺では大型電気店のオープンや新装開店予定など、家電量販店の動きが活発ですが、この際、古くなった電化製品を新しく買い換えたり、以前から欲しかったものを購入しようと考えておられる方も多いのではないでしょうか。今回は、そんな電化製品に関する「家電リサイクル法」についてのお話からです。

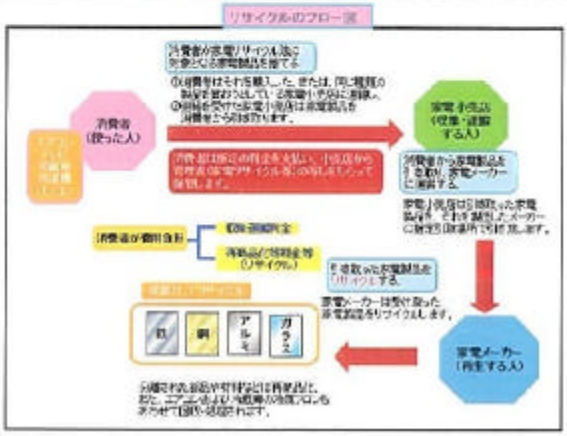
家電リサイクル法とは？

皆さんも一度は聞かれたことがあると思いますが、「家電リサイクル法」は、平成13年4月に施行され、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンの家電4品目は大型ごみの対象から除外され、我々消費者がリサイクル費用を負担し、家電メーカーがリサイクル化することになりました。そして、本年十月一日より、パソコンが家電リサイクル法の対象商品に追加されました。（左図参照）



リサイクルのフロー

では、実際回収された電化製品はどのようにリサイクルされるのでしょうか。パソコンを例にとると、ノート型パソコンで2割、デスクトップ型で5割以上が、ガラスや鉄、プラスチック資源としてリサイクルされます。（左図参照）



当社でも、今後IT化が進んでいき、各工程にパソコンが設置され、保有台数が増えていきます。私達は、与えられたパソコンという経営資源を有効に活用するのはもちろんですが、お金を出せば、引き取ってもらえるとは言え、最後まで大切に使うことも大事です。パソコンに限りませんが、例えば紙でもそうですが、リサイクルするから、いくらでも使って良いのではなく、少しでも廃棄物を出さないようにすることが、環境の基本です。

平成15年　消防訓練活動報告

さる10月15日（水）、消防訓練が実施されました。今年で３回目となる同訓練ですが、今回は出火元がこれまでの管ガラス・外周刃切断機から、出荷室に変更になり、前回までとは違った避難経路の確認や、作業役割をすることが出来ました。

消火器を使った訓練は毎回ありますが、訓練時には覚えていても一年経つとすっかり忘れていて毎年新鮮な気持ちで使い方を再確認できます。

もし、実際に火災や地震等の災害が発生した時には、今回の訓練を思い出し、冷静沈着な行動を心がけたいものです。

放水訓練

水消火器を使っての訓練

消火器の使用方法の説明

編集後記

今年の十月から「家電リサイクル法」に新たにパソコンが追加されましたが、今やパソコンも一家に一台の時代に入ってきました。

ある大手銀行が二〇〇六年をメドに現在の紙の通帳を原則廃止し、パソコンや携帯電話の画面上で、預金口座の取引内容を確認できるインターネット上の預金通帳「ウェブ通帳」を導入するそうです。ウェブ通帳は、ネット上の通帳で取引内容を確認するだけでなく、特定の取引毎に金額を集計するなどの機能を持たせ、余白部分に自由にメモを書き込むことも可能にするそうです。

パソコンや携帯電話のインターネット接続の普及で、紙よりネット上の通帳の方が利便性が高いと感じる預金者が増えると見込んだものだそうですが、さてあなたは「ウェブ通帳」と「紙の通帳」のどちらを選びますか？

井上

6. 平成15年度　取組状況と実績①

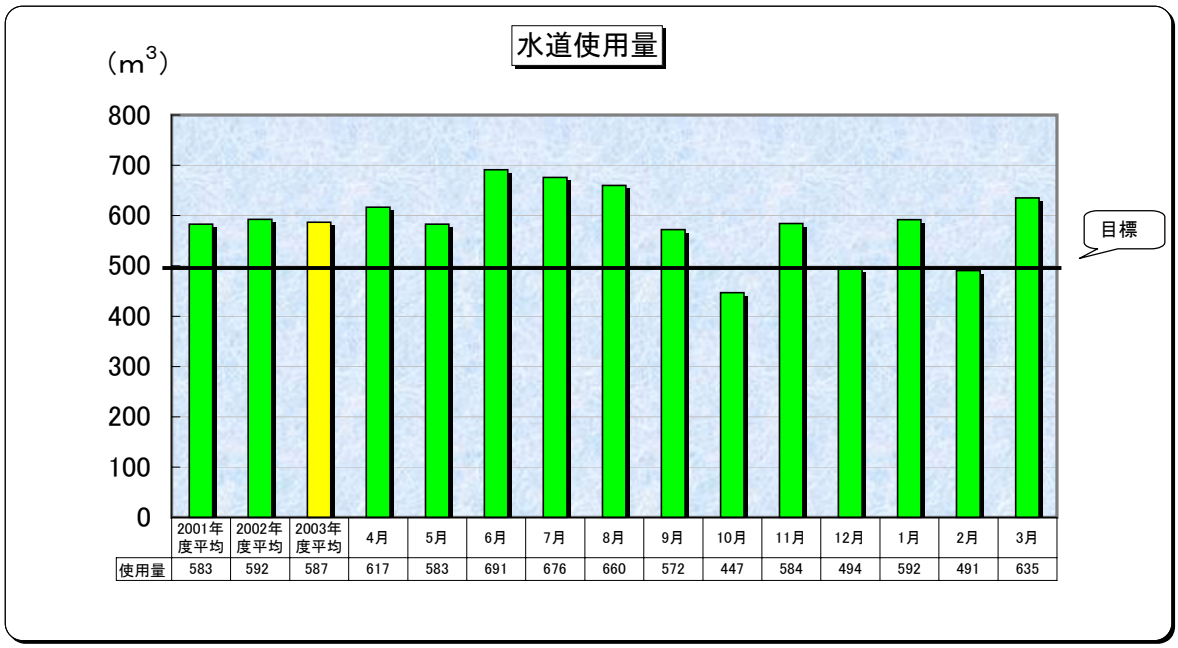
2003年度 水道／電力使用量推移

株式会社 暁精工所

2002年度は、水道使用量の目標が低すぎた為(726m^3)、2003年度は、目標を高めに設定し(484m^3)工程内のリサイクル水を利用、トイレに節水弁を設置するなど地道な努力を展開してきましたが、生産、設備の増加により達成できませんでした。

1 水道使用量

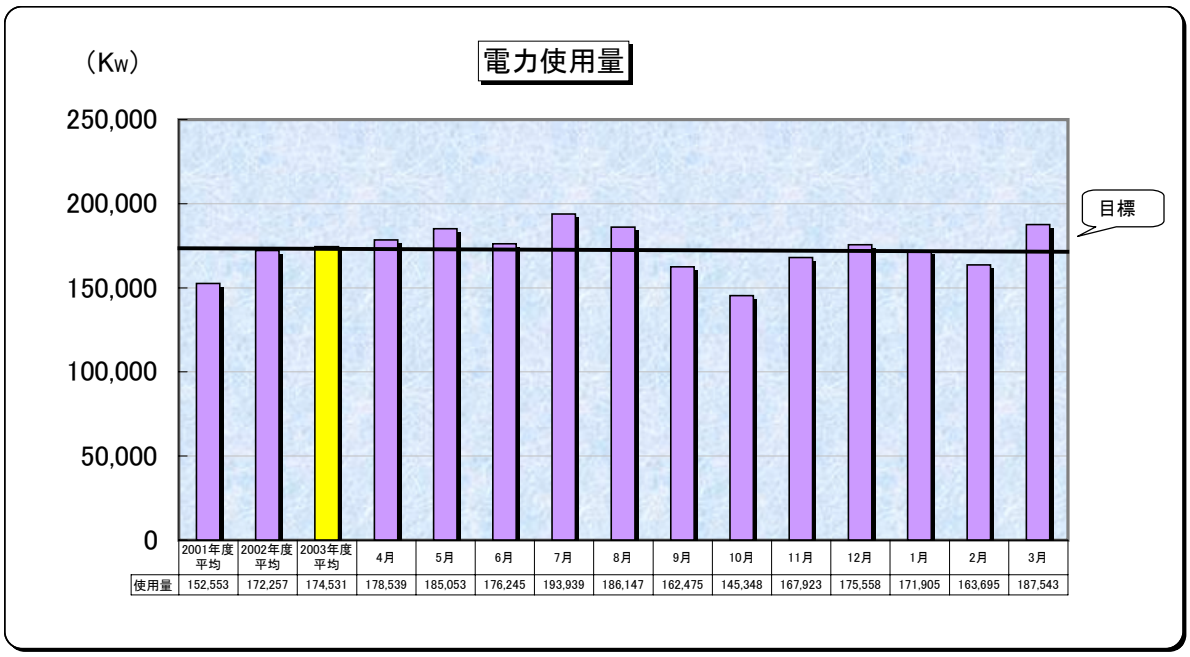
＜目標＞
月平均　484　m^3



	2001年度平均	2002年度平均	2003年度平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
使用量	583	592	587	617	583	691	676	660	572	447	584	494	592	491	635

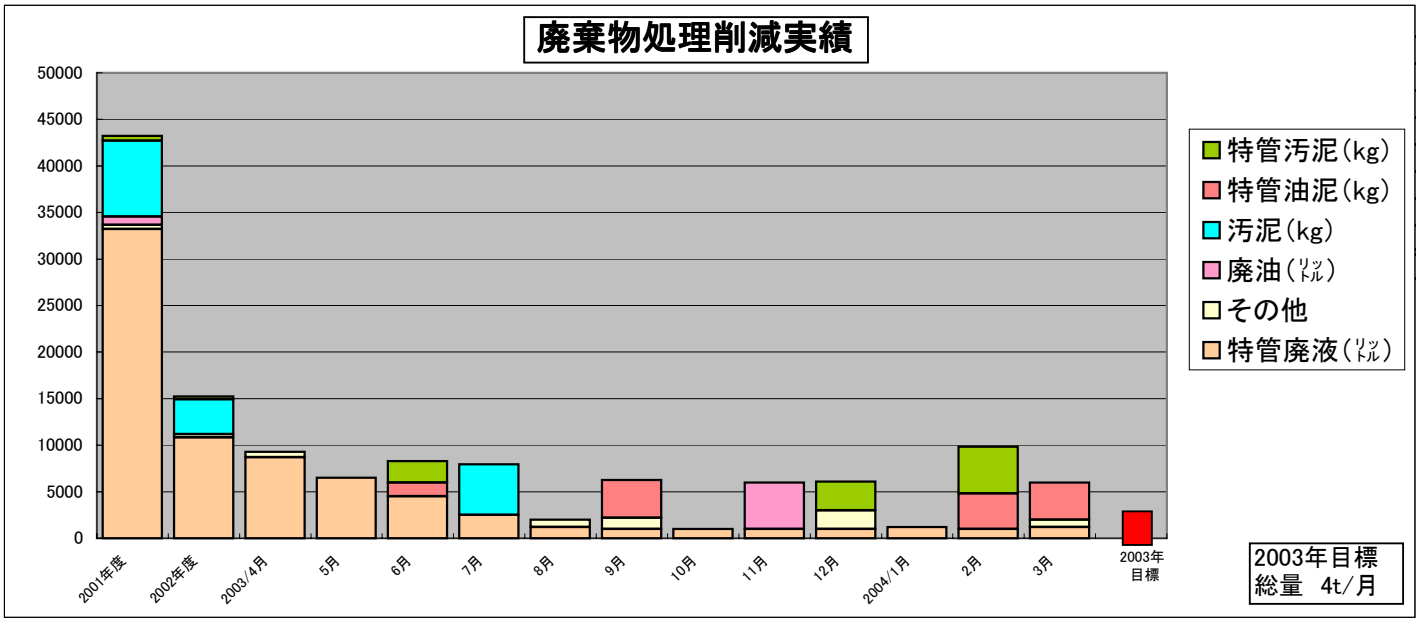
2 電力使用量

＜目標＞
月平均　170,550Kw



	2001年度平均	2002年度平均	2003年度平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
使用量	152,553	172,257	174,531	178,539	185,053	176,245	193,939	186,147	162,475	145,348	167,923	175,558	171,905	163,695	187,543

7. 平成15年度　取組状況と実績②

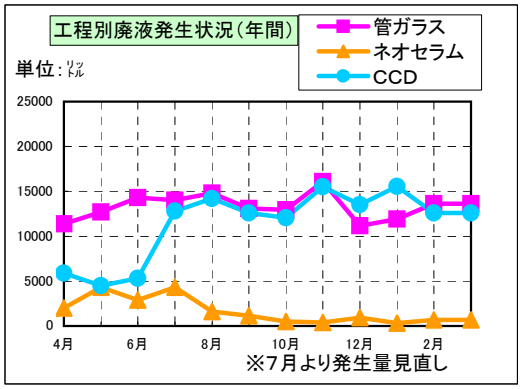


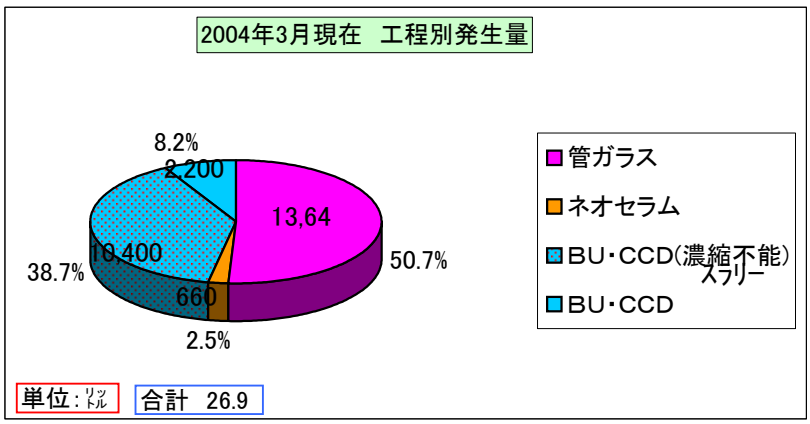
2004年3月度　暁精工所　工程別廃液状況

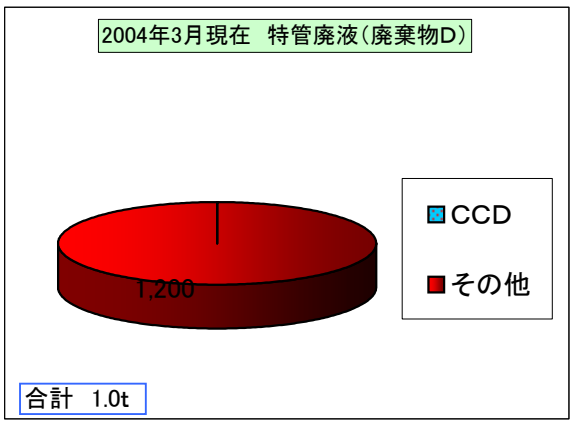
2004年3月26日
(株)暁精工所　岡田

1. 工程別廃液発生量

工　程		発生量ﾘｯﾄﾙ	濃縮槽	ﾘｻｲｸﾙ	廃棄物D(特管廃液)
BU・CCD	切断スラリー	2,100	―	―	―
	その他ｽﾗﾘｰ	8,300	―	10,400	―
	洗浄	1,200	1,200	―	
	ｼﾞｪﾈ・ｲﾝﾅｰｿﾞ	1,000	1,000	―	
ﾈｵｾﾗﾑ	切断	0	0	―	濃縮残液、上澄み
	洗浄	660	660	―	500
管ｶﾞﾗｽ	切断	500	500	―	
	洗浄	7,140	7,140	―	
	油水分離処理	6,000	5,500	―	500(油分)
合　計		26,900	16,000	10,400	1,000
		濃縮量	15,000		







8. 平成15年度　取組状況と実績③

安全環境推進委員会（月1回実施）

各グループより安全環境推進委員を任命し、月1回会議を行っています。
全体の状況や問題点等をグループを超えて発表・検討する場です。
又、委員を通じて全員で環境について考えていくよう力を入れています。